

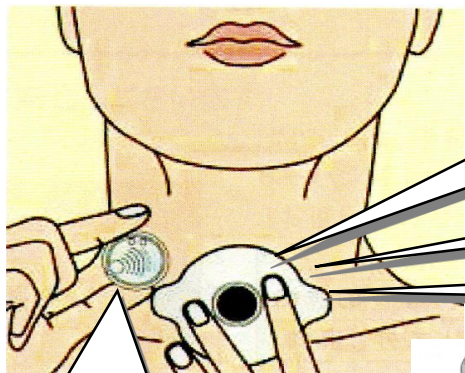
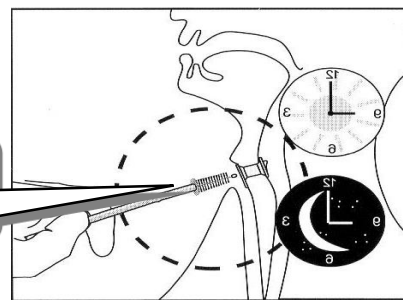
生活用具給付品の詳細:2/2

日常生活用具とその役割



気管孔から見た『プロヴォックス』

名称：ブラシ
プロヴォックスを掃除

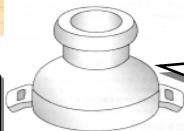


名称：保護膜剤
アトヒーシブの粘着性を高める

名称：剥離剤
皮膚に残った粘着剤の除去に使用

名称：アトヒーシブ人工鼻を固定

名称：人工鼻:HME



名称：ラリボタン
HME(熱湿気交換器)、フリーハンズHME等の保持具として使用

生活用具の使用期限と価格

製品はすべてスウェーデン製です。

	名称	使用期限	入数	税別価格	単月税別価格	備考
1	プロヴォックス	3ヶ月	1セット	8100円	2,700	税別費用38600円ですが、少しでも長持ちさせる為、工夫をこらしておりますがそれも限界あります。
2	HMEカセット	1日～2日	30個	15000円	15,000	
3	アトヒーシブ	1日～2日	20枚	12000円	18,000	
4	保護膜剤	1日～2日	50個	2000円	1,200	
5	剥離剤	1日～2日	50個	2000円	1,200	
6	ブラシ	1ヶ月	6本入	3000円	500	
合計					38,600 円	
7	ラリボタン	各人によるが 1年程度	1個	29000円		気管孔の開放性を確保し、狭窄を防止する

*ラリボタンを使用した場合は、アトヒーシブ・保護膜剤・剥離剤は不要となります。

申請理由

毎月多額の費用を個人負担せねばなりません。喉摘者に対する医術は欧米に比べ30年程度遅れていると言われており、関わる医師も公益社団法人『銀鈴会』にて食道発声を指導しているからそちらへと誘導しており、癌を摘出したら医師の役割は終わりとなっているのが現状です。喉摘者の中には現役もいます。一日も早い職場復帰が実現すれば行政の負担軽減にも繋がります。他の障害者の生活用具と同じ扱いにして頂ければ、多くの喉頭摘出者がシャント術に挑戦、職場復帰を目指す励みになると思います。お隣、東京都江戸川区平成26年、葛飾区27年千葉県では平成25・26年に松戸市他3市、平成29年は千葉市、船橋市、袖ヶ浦市、平成30年には浦安市をはじめとして6市が給付を実施しております、シャント手術と共に喉頭摘出者に必要な生活用具の使用により咳や痰が減り気管支炎が改善されており、生活用具給付は永久気管孔の私たちが快適に過ごすために必要なものです。

添付資料

- 1) 銀鈴会のご案内&CD『声をふたたび』
- 2) アトスメディカルジャパン社カタログ「PROVOXご使用の手引き」